

# 環境負荷の全体像

## Environmental Impact

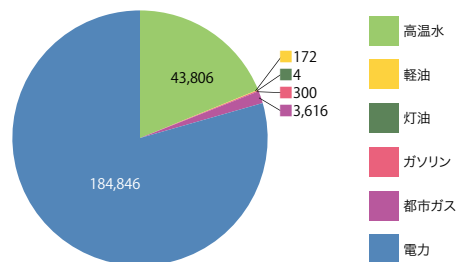
農環研は試験研究が主な業務であるため、製品を製造したり販売するのではなく、論文・学会発表や特許出願などの成果によって、付加価値を社会に向けて発信しています。しかしながら、研究活動を行うために必要な施設、設備や実験機器などの稼働、水田、畑などの管理のために、多くのエネルギーや資源を消費し、その結果として、環境に負荷を与える物質を排出しています。農環研の活動による主な環境への負荷は、温室効果ガスや廃棄物の排出によるものです。

そのため、事業活動に伴い生じる環境負荷の状況を把握することは、環境保全に配慮した活動を行い、環境への負荷の低減を図るうえで重要です。農環研の2009年度の事業活動に関わるエネルギー、水および物質の投入と排出による環境負荷の状況は図のようになります。

環境に与える負荷を減らす努力をしながら、一方で環境を守るための多くの研究成果を発信し、社会に貢献しています。

### 全体エネルギー消費量

農環研でのエネルギー消費は、エネルギー量に換算すると232,744GJです。内訳では電力の消費によるものが79%と全体の約8割を占めています。



2009年度種目別エネルギー使用量(単位: GJ)

